

## 「住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画小委員会」における審議結果について

委員長	： 安田 丑作	神戸大学 名誉教授
委員	： 檜谷 美恵子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	： 松原 一郎	関西大学社会学部 教授
	： 市川 禮子	社会福祉法人きらくえん 名誉理事長
	： 松尾 信明	(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 会長
外部有識者	： 坂部 淑子	全国賃貸住宅経営者協会連合会兵庫県支部長

### 平成 29 年度 第 1 回

1 日時等：平成 30 年 2 月 2 日(金) 10:00～12:00、県庁第 2 号館 11 階 A 会議室

#### 2 説明内容

- (1) 要配慮者に対する住宅と福祉に関する兵庫県の取組について
  - ・ 阪神・淡路大震災後と平成 29 年度に実施した各種施策の紹介
- (2) 計画策定に向けた考え方の整理

#### 3 主な意見

- ・ 要配慮者や民間賃貸住宅の現状や課題について具体的に把握すべき
- ・ 要配慮者に対していかに情報を届けるかが重要
- ・ 居住支援を行う人材や団体の育成が必要

### 平成 30 年度 第 1 回

1 日時等：平成 30 年 7 月 3 日(火) 13:30～15:30、兵庫県職員会館多目的ホール

#### 2 説明内容

- (1) 要配慮者と民間賃貸住宅の現状について
- (2) 計画(素案)について
- (3) 登録住宅の供給目標量について

#### 3 主な意見

- ・ 計画に記載されている要配慮者以外にも気を配ることが必要
- ・ 福祉部局や市町、居住支援団体と連携した取組を充実させるべき
- ・ 貸主にとってメリットとなるような支援が必要
- ・ 災害時や事故など、緊急時の対応についての想定が必要
- ・ 市場での確保の見通しなど、供給側からの検討も必要

### 平成 30 年度 第 2 回

1 日時等：平成 30 年 9 月 12 日(水) 10:00～12:00、兵庫県私学会館 302・303 号室

#### 2 説明内容

- ・ 計画(案)について

#### 3 主な意見

- ・ どのような点に着目して要配慮者を選定したかわかるようにすべき
- ・ 公営住宅ではニーズに十分対応できず、民間住宅を活用することでよりよい住宅セーフティネットが構築できる旨を記載すべき